

森川先生の 胃腸科診察室 △ようこそ△

第6回 過敏性腸症候群の話

今回は30歳の男性・Sさんの相談です。

森川先生 今日はどうされましたか。

Sさん はい、実は以前から、日に何度も下痢をするんです。

森川先生 おなかの痛みや発熱、血便が出ることはありますか。

Sさん ありません。森川先生 下痢の様子を教えてください。

Cさん 昔から食事の

たびにトイレに行ったり、外出してもトイレを探すほど頻繁に便意があります。おなかが張ったり、排便後もすっきりせず、ガスもよく出ます。

森川先生 血液検査や大腸内視鏡などの精密検査を受けたことはありませんか。

Sさん はい、でも異常ありませんでした。

森川先生 ちょっとおなかを見せてください。(おなかの診断後)

森川先生 おなかの音がグルグルと活発に聞こえることや、検査で異常がなかったことを考えると、過敏性腸症候群の可能性が高いですね。ご存じですか。

Sさん 聞いたことはありますが、原因ははっきりしないのですが、体質やストレスとの関連が考えられ、症状も人によってさまざまです。Sさんの場合、自律神経の影響で、腸の働きが活発になり過ぎている状態です。日常生活に支障なければ繊維質のものを多く取る食事で様子を見ますが、支障があるなら薬での治療が必要です。薬はいろいろあり、どれが効果があるかは、飲んでみないと分かりません。少し時間がかかりそうですが、治療をしましょうか。(1カ月後)

森川先生 その後、症状はいかがですか。

Sさん まだ多少便が緩いのですが、以前より楽になりました。

森川先生 では今の薬をもう少し続けていきましょう。



森川民也先生

もりかわ内科クリニック院長。鳥取大学医学部卒業。福山医療センター、亀田総合病院附属専攻科などクリニック(千葉県)など消化器内視鏡のスペシャリストとして勤務。医学博士、消化器内視鏡専門医。同クリニックは、東手城町1-3-11、東手城ヘルスケアモール内